



第1回学校評価の集計結果

保護者の皆様にご協力いただきました「本校の教育活動についての第1回保護者アンケート（学校評価）」の集計結果が出ましたので、お知らせいたします。

アンケートの実施にあたっては、それぞれの評価項目について、A（よくあてはまる）、B（だいたいあてはまる）、C（あまりあてはまらない）、D（あてはまらない）でお答えいただきました。

なお、表中の保護者欄及び教職員欄のA+Bは、「A（よくあてはまる）」と「B（だいたいあてはまる）」の%を合わせた数値で、「**太字**」は目標値を下回った数値です。

【達成度（a・b・c）の判定に関わる基準】

- ・ 目標値が 100% の場合の
 - a 判定 … 保護者と教職員のどちらもがAとBの合計が100%の場合
 - c 判定 … 保護者と教職員のどちらもがAとBの合計が90%未満の場合
 - b 判定 … a判定とc判定に当てはまらない場合
- ・ 目標値が 90% の場合の
 - a 判定 … 保護者と教職員のどちらもがAとBの合計が95%以上の場合
 - c 判定 … 保護者と教職員のどちらもがAとBの合計が90%未満の場合
 - b 判定 … a判定とc判定に当てはまらない場合
- ・ 目標値が 80% の場合の
 - a 判定 … 保護者と教職員のどちらもがAとBの合計が85%以上の場合
 - c 判定 … 保護者と教職員のどちらもがAとBの合計が80%未満の場合
 - b 判定 … a判定とc判定に当てはまらない場合

評価対象	I 確かな学力の向上	V 読書指導の充実
	II 豊かな心の育成	VI 保護者・地域・関係団体との連携
	III 心身ともに健康な体の育成	VII 安全管理の徹底・安全指導の充実
	IV アウトメディアの指導の徹底	

※	評価項目	アンケート項目（保護者用を掲載）	目標値	保護者 (A+B)	教職員 (A+B)	達成度
I	<分かる授業>の授業づくり	① 学校は、子どもにとって<分かる授業>となるように、色々な工夫をしていると思いますか。	<u>90%</u>	95%	100%	a
	個に応じたきめ細かな指導	② 学校は、「個に応じたきめ細かな指導（机間指導、TT、補充的な指導、発展的な指導）」を工夫していると思いますか。	80%	91%	100%	a
	『北小家庭学習の手引き』	③ お子さんは、『北小家庭学習の手引き』で決められた家庭学習（低学年30分、中学年40分、高学年60分）を毎日行っていますか。	80%	75%	91%	b
	『北小学習10のルール』	④ お子さんは、『北小学習10のルール』を守って学習に取り組んでいると思いますか。	80%	73%	92%	b
II	自ら進んであいさつ	⑤ お子さんは、家庭でも自分から進んであいさつをすることができますか。	<u>90%</u>	90%	100%	b
	時と場に応じた適切な言葉遣い	⑥ お子さんは、家庭でも時と場に応じた適切な言葉遣いができていますか。	80%	89%	100%	a
	いじめの未然防止	⑦ お子さんは、友達が嫌な気持ちにならないように、いつも気をつけてしゃべったり行動したりしていると思いますか。	<u>90%</u>	88%	100%	b
III	<早寝・早起き>	⑧ お子さんは、毎日8時間以上の睡眠をとっていますか。	80%	94%	90%	a
	<朝ご飯(朝食を食べて登校)>	⑨ お子さんに、毎日必ず、バランスの良い朝食を食べさせていますか。	80%	85%	90%	a
	学校での外遊び	⑩ お子さんが、登校後・25分休み・昼休み・放課後に、毎日1回は外遊びをするように、折に触れて繰り返し声掛けをしていますか。	80%	75%	90%	b
	むし歯の即時治療完了	⑪ 治療勧告は受けなかった。 又は、治療勧告を受けたむし歯を治して『治療完了報告書』を提出した。	<u>100%</u> (Aのみ)	79%	90%	b
IV	『北小電子メディア利用のきまり』	⑫ お子さんは、『北小電子メディア利用のきまり』（1日45分以内）を毎日必ず守っていますか。	<u>90%</u>	65%	90%	b

V	学校図書館の利用・読書習慣の定着	⑬ お子さんは、家庭で毎日、読書や音読をしていますか。	90%	74%	80%	c
	保護者への情報提供・保護者との連携	⑭ 学校は、各種便り、連絡帳、電話連絡等で、保護者への情報提供、保護者との連携に努めていると思いますか。	80%	95%	91%	a
VI	学級懇談会への出席	⑮ 学級懇談会に毎回必ず出席していますか。〔保護者用〕	80%	86%	/	a
	スクールサポートボランティアの活用	⑯ 学校は、授業等で、必要に応じてスクールサポートボランティアを活用していると思いますか。	80%	91%	60%	b
	危険箇所の迅速な修理・修繕	⑰ 危険箇所を発見した際に、管理職に迅速に報告していますか。〔教職員用〕	100%	/	100%	a
VIII	交通安全ルールの指導	⑱ 北小児童は、登下校時や帰宅後に、交通安全ルールを守って歩行したり、自転車に乗ったりしていますか。	90%	96%	100%	a
	台風・降雪・不審者・熊等への対応	⑲ 学校は、台風や降雪の際、不審者や熊等出没の際に、<ふれあいメール>等を活用して、適切な対応をとっていると思いますか。	80%	97%	100%	a

結果から分かることと今後の対策について

それぞれの項目に設定した目標値を上回ったものをよい結果と考え、下回った点については、課題と捉え、課題に対する改善策を今後、実践していきたいと思えます。保護者の皆様にもご協力をいただきながら進めていくこともありますので、今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

よい結果があらわれている点

○保護者との連携がうまくいっている

95%の保護者が、「学校や子どもの成長の様子分かり、保護者との連携に努めている」と回答してくださりました。また、常に多くの保護者が授業参観や懇談会に出席してくださっており、学校と保護者との連携がうまく図られています。

○学校の授業は分かりやすい

個に応じたきめ細かな指導を行い、子どもにとって分かりやすい授業となるように、いろいろな工夫をしていると、100%に近い評価が出ています。今後も質の高い授業づくりに努めていきたいと考えています。

○あいさつや時と場に応じた適切な言葉づかいができています

学校やご家庭でのいろいろな場面において、あいさつやその場にふさわしいことば遣いができているという評価結果が出ています。今後も日々のあいさつを大切にするとともに、子どもたちの言語環境の充実に努めていきたいと思えます。

○朝ご飯をきちんと食べて登校できている

「早ね、早起き、朝ご飯」の定着が図られてきている結果だと思えます。朝ご飯を食べてくることが、子どもたちの学校生活の充実に欠かせません。ご家庭でのご協力に感謝いたします。今後も、よろしくお願ひいたします。

○交通安全ルールの指導がしっかりとできています

交通安全教室の実施や、ご家庭での適切なご指導により、子どもたちが交通ルールをしっかりと守れている結果が出ています。今後も事故ゼロを目指し、気を引き締めて指導に当たっていききたいと思えます。

いっしょに考えていただきたい点

○学習習慣が身についていますか

「北小電子メディア利用のきまり（1日45分以内）」については、約30%の保護者が「きまりをあまり守れていない」と回答しています。子どものゲーム中毒やネット依存を未然に防止する観点から、家庭内でルールを設定するなど、ご家庭での約束について、十分に話し合せて実行していただきたいと思えます。学校においても、「北小学習10のルール」の実践を徹底し、「学びウィーク」等の機会を活用して、学習習慣の習得をより重点的に図っていききたいと考えております。

○学校図書館を利用し、読書習慣が身についていますか

学校図書館の利用や読書習慣については、保護者、教職員ともに目標値より低くなってしまい、アンケート全体の中で唯一C判定の結果でした。子供たちがより本に興味をわくような工夫や、授業での図書館の有効活用に取り組んでいきたいと思えます。ご家庭でもアウトメディアの時間を読書に変え、親子読書の継続をぜひ、お願ひいたします。

○友達を思いやる言動がとれていますか

いじめの未然防止については、帰りの会などで友達のよかったところを発表し合い、自己肯定感を高めたり、クラスの仲を深めたりすることで、いじめ防止に努めていきたいと思えます。

○むし歯の治りようは済んでいますか

病気の治療は、何事にも優先されるべきものであります。早期発見、早期治療がとても大切です。各ご家庭でのご理解とご協力を、よろしくお願ひいたします。



第1回学校評価の分析結果(○)と改善策(→)

- 達成度において「c判定」の評価項目はありませんでした。

→ 「c判定」がありませんでしたので、基本的には改善策を設定する必要はないと考えています。

○ 目標値を例年並みの“80%”に設定した11の評価項目のうち、「b判定」の評価項目は「北小家庭学習の手引き」「北小学習10のルール」「時と場に応じた適切な言葉遣い」「朝ご飯＝朝食を食べて登校」「学校での外遊び」「スクールサポートボランティアの活用」の6つでした。そして、この6つの中で、目標値を下回っていたのは、「北小学習10のルール（保護者結果＝79%）」「学校での外遊び（保護者結果＝70%）」「スクールサポートボランティアの活用（教職員結果＝33%）」の3つでした。

→ 今回のアンケートで、突出して数値が悪かったのが、「スクールサポートボランティアの活用（教職員結果＝33%）」でしたが、教職員用のアンケート項目は「授業等で真に必要とされるスクールサポートボランティアを活用していますか。」となっています。

したがって、スクールサポートボランティアをたくさん活用しているかどうかを尋ねているのではなく、教職員から要望のあったスクールサポートボランティアを可及的速やかに導入できているかどうかを尋ねているということ、再度教職員間で共通理解したいと考えています。

→ 1日4回ある「学校での外遊び」は、小学生にとってもっとも身近で効果があり、毎日取り組める体力向上の機会になりますので、登校後、25分休み、昼休み、放課後のうち、最低でも1回は外遊びをするように、家庭でも繰り返し声掛けをしていただきたいと思います。

学校でも校内放送で外遊びの呼び掛けを行うなど、工夫していききたいと考えています。

○ 目標値をやや高め“90%”に設定した6つの評価項目のうち、「b判定」の評価項目は、「自ら進んであいさつ」「いじめの未然防止」「北小電子メディア利用のきまり」「学校図書館の利用・読書習慣」「交通安全ルールの指導」の5つでした。

そして、この5つの中で目標値を下回っていたのは、「いじめの未然防止（保護者評価＝89%）」「北小電子メディア利用のきまり（保護者評価＝70%）」「学校図書館の利用・読書習慣（保護者評価＝79%）」の3つでした。

→ 「北小電子メディア利用のきまり（1日45分以内）」については、30%の保護者が「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」と回答しています。

ゲームやスマホなどの電子メディアを利用して遊ぶのは帰宅後の時間になりますので、子どものゲーム中毒やネット依存を未然に防止する観点から、家庭内ルールを設定して厳格に適用するなど、保護者の責任において、しっかりと管理していただきたいと思います。

→ 今回のアンケートでもっとも数値が高かったのは、昨年度と同様に「<分かる授業>の授業づくり（保護者評価＝99%）」でした。

学力向上対策の基本である日々の授業づくりについて高い評価を得られたことを、教職員一同たいへん嬉しく思っています。今後も質の高い授業づくりに努めていききたいと考えています。

○ 目標値を“100%”に設定した2つの評価項目のうち、「b判定」の評価項目は、「むし歯の即時治療（保護者評価＝82%）」で、目標値が100%ですから、当然それも下回っていました。

→ 歯の病気（むし歯・要注意乳歯・歯石沈着症）を治療するのは当然のことであり、速やかに治療を完了させて『受診状況報告書』を提出することができないのは、保護者の意識に問題があると思っています。病気の治療は、何事にも優先されるべきものでありますので、今後も粘り強く指導を続けていききたいと考えています。